

1月

給食だよ！



令和 7 年 1 月 塩沢学校給食センター

新年明けましておめでとうございます。

今年度も残すところ、あと 3 ヶ月となりました。引き続き、毎日の給食時間が待ち遠しくなるような、魅力ある給食作りに努めていきたいと思ひます。本年もよろしくお祈ひします。

(ご家庭でお子さんと一緒にお読みください)

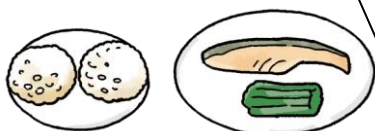


日本の学校給食は、明治 22 年、山形県鶴岡町(現:鶴岡市)の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和 21 年にアメリカの支援団体「LARA(アジア救済公認団体)」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和 21 年 12 月 24 日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和 25 年度からは、冬季休業と重ならない1月 24 日~30 日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などを皆さんに知ってもらい、学校給食についてあらためて考える機会にしてほしいと思ひます。

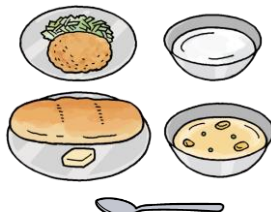
明治 22 年



私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。

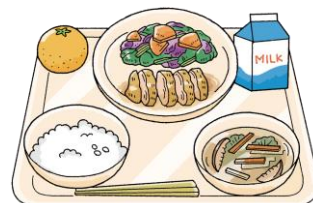


戦後



支援物資や脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。

現在



地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など食育の教材となる給食。

脱脂粉乳って何？

脱脂粉乳は、牛乳の脂肪分を除き、乾燥させて粉にしたものです。現在も「スキムミルク」として販売されています。学校給食は、戦争で一時期中断となりましたが、太平洋戦争後、食料不足で苦しむ子どもたちのためにアメリカなどからの、脱脂粉乳などの援助物資を受け再開することができました。



今の給食とくらべたり、ご家庭で給食の思い出を話したりしてみませんか？

